DreamINDEX

A589-2061101A

オムロンKANSAI

IoTリモート管理を実現

容器と原材料管理を自動化しませんか？

課題

・容器・パレット内の部品・製品の各工程ごとの製造状況を把握したい。
・容器・パレットの使用回数・状況を把握したい。
・出荷した製品の製造履歴を管理したい。

解決案　オムロンのRFID　V680/680S/V780をご提案致します。

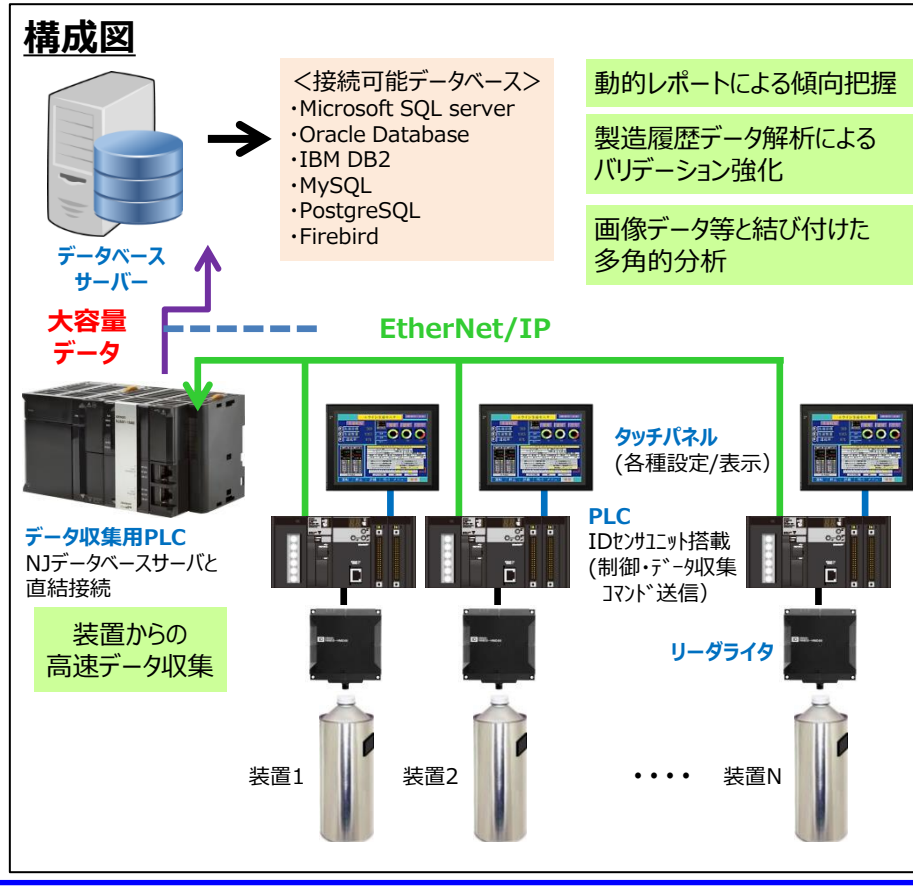
RFIDにより品質維持・向上/安全性向上を実現できます。

RFIDの最大のメリットは、業務効率をアップさせられることです。
通常のバーコードの性質上、どうしても1点1点スキャンして確認しなくてはいけないので
時間や手間が発生してしまいます。
RFIDであれば、複数の商品情報を一括で読み取ることが出来るので
商品の入荷時や、検品、棚卸時の負担も軽減することができます

パレット単位で情報を管理
パレット上の個体にマーキングされた情報と、パレット単位の情報を紐づけて管理することにより、工程と工程をまたがった管理が効果的に行えます。
また手書き伝票やラベルで行っている書込み・読取りの工程を自動化することで、人為的なミスも防止できます。

前工程の情報を活用した作業指示
RFタグに前工程の処理結果を書き込みながら工程を進めることで、部品の組み合わせの指示や後工程の処理時間や内容を最適化でき品質向上に貢献します。

構成図



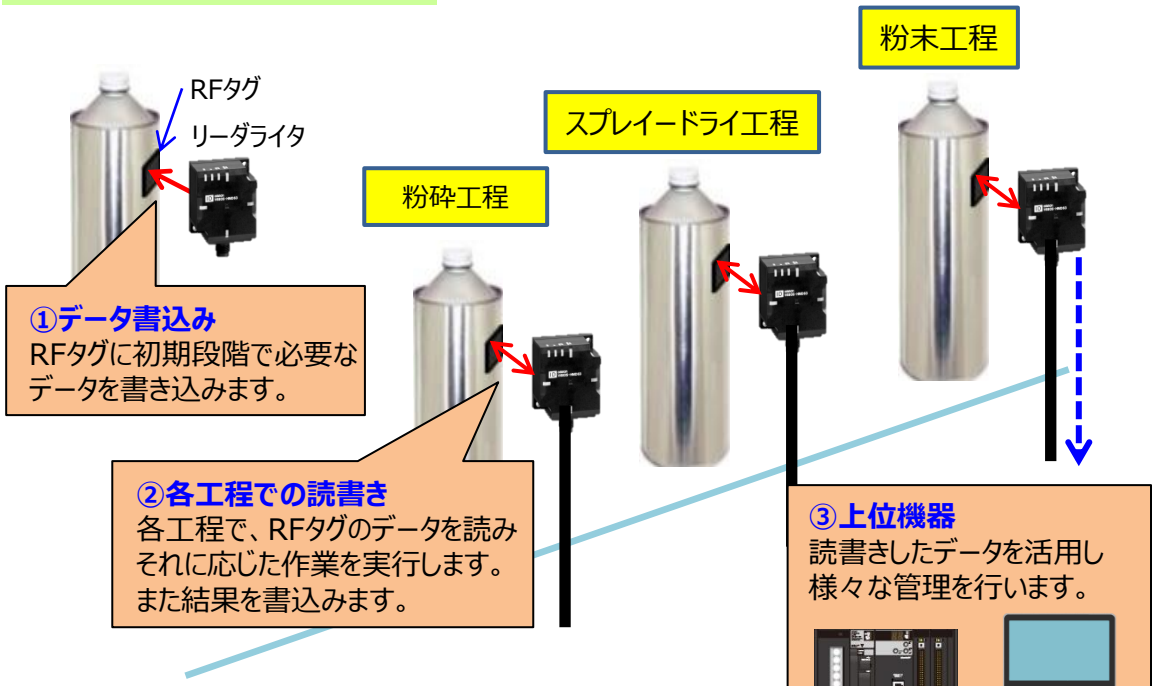
【使用例と効果】

RFIDを使用すれば

- ✓ コンテナに取付けたＲＦタグに個体情報を書き込むことで、コンテナとそのコンテナに載せられた個体を紐づけ管理できます
- ✓ 工程間、工場間に滞留している中間在庫をリアルタイムに把握できます

工程とRFID運用イメージ

（例）医薬品　粉末の場合



※交信距離が短い場合はV680/V680Sが、
長い通信距離が必要な場合はV780が使用出来ます

タグデータ例

＜固定データ＞
- ・購入年月
- ・容器No.

＜変動データ＞
- ・容器洗浄液
- ・容器洗浄回数/時期
- ・容器使用回数/時期
- ・配合用レシピ
- ・容器の中身

容器が洗浄済か未洗浄かを正確に識別できます
→容器使用可否確認工数を大幅削減！

容器使用回数/履歴が即判明します
→容器使用回数オーバー防止
→品質維持に貢献！

各工程で容器中身の製造履歴が即判明します
→容器使用可否確認工数を大幅削減！

容器自体が情報を持つ為容器識別間違いを防止を出来ます
→確認工数の削減を実現！

RFタグのデータに基づきオフラインで作業が可能です
→作業効率向上。
万一の時も作業継続可能！

原材料の自動配合を実現します
→人為ミスによる配合ミス防止を実現！